

特別支援学校高等部理療科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
1	保健理療の目標には「国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てる。」とあるのに対し、理療の目標には「国民の健康の保持増進及び疾病の治療に寄与する能力と態度を育てる。」とあり、疾病の治療に寄与する能力と態度を育てる目標が加わっていること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
2	1 胸脇苦満		8
	2 平脈		8
	3 強さ 緊張度	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
3	1 イ, ウ, エ	3つとも合っているものだけを正答とする。	10
	2 L-ドーパは血液脳関門を通るが、ドパミンは通らないため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	3 腕を振らせる、声をかける、床に引いた線をまたがせるなど、リズムカルに行うようにする。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
4	1 (イ), (ウ)	2つとも合っているものだけを正答とする。	10
	2 圧受容器が興奮し、その情報は脳幹に伝えられる。その結果、心臓血管支配の交感神経活動は反射的に減少し、心臓血管支配の副交感神経活動は反射的に増加して、心拍出量の低下、血管拡張(血管抵抗の減少)などの反応が起こり、動脈圧は下降する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	3 体液中のCO ₂ あるいはH ⁺ 濃度が上昇して酸性に傾こうとすると、呼吸運動が亢進し、体液中のCO ₂ が肺から多量に空気中に排出されて、体液のpHは元の値にもどる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8

特別支援学校高等部理療科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1	拳摩振せん法		8	
	2	左右の示指を同時に耳孔に入れ、左右の中指と母指ではじき、指を抜くときは同時に抜く。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	3	調摩の術	軽擦法	按撫法 もよい。	各 3 × 3
		解釈の術	揉捏法		
利関の術		関節運動法	運動法 もよい。		
6	1	<p>生徒Bの「何もありません。さきほど押された部位よりも、上方に刺鍼されているように感じます。」という発言から、腎兪穴の取穴は正しかったが、刺鍼すると上方にずれるという課題があることが予想される。</p> <p>そのため、指導方法としては、まず、指導者が腎兪穴を取穴し、生徒Aに刺鍼部位とのずれを確認させる。</p> <p>次に、なぜ、ずれが生じたのかについて、生徒Aに考えさせる。</p> <p>生徒Aが目的の部位に刺鍼できるように取穴してから押手を作成するまでの手順を確認させ、指導者はずれがないような押手の作成方法を指導する。</p> <p>その後、もう一度、腎兪穴を取穴、刺鍼させ、正しい刺鍼を繰り返させる。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	15	
	2	<p>気胸</p> <p>体型の観察を行い、やせ型、標準、肥満型を見極め、肋骨や肩甲骨鎖骨の位置関係を触察し、安全な刺鍼深度の目安を付けること。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 7 × 2	
	<p>折鍼</p> <p>異常のある鍼は使用せず、再使用を避け、単回使用にすること。鍼通電では、銀鍼の使用を避け、ステンレス鍼とすること。粗暴な手技は行わず、抜鍼困難時は、無理に抜鍼しようとせず、しばらく筋収縮が緩解するのを待ってから抜鍼すること。施術前には、刺鍼中はリラックスした状態で、なるべく体動を避け、動きたいときは事前に声をかけていただくか、合図をくださいと話しておくこと。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。			

特別支援学校高等部理療科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
7	1 下廉		4	
	2 天枢の下方1寸の腹直筋中に取り。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 陰交の外方2寸の腹直筋中に取り もよい。	4	
	3	中脘	3つとも合っているものだけを正答とする。	4
		胆俞		
		陽綱		
	4 築賓		4	
5 陽溪, 解溪, 陽谷, 崑崙, 支溝, 陽輔	順序は問わない。 6つとも合っているものだけを正答とする。	4		
8	1 仰臥位で股関節と膝関節を最大屈曲し、下腿を外反・内旋又は内反・外旋し、外側又は内側の関節裂隙を触れながら伸展していき、クリックや疼痛の有無を検査する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	2 ゆっくりと動かしながら、患者が痛みを訴えない範囲で測定する。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	3 仰臥位での下肢挙上訓練などの等尺性収縮の訓練。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	8	
	4 必要な情報を整理し明確化することができるなど論理的な思考ができ、客観的で科学的な診療を行うことができる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	5 資料中の患者は、63歳、女性、肥満傾向にあり、変形性膝関節症の患者は、この女性のように、一般に40歳以上の肥満傾向のある女性に発症しやすいため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	